

▼トリセノックス注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】三酸化ヒ素 arsenic trioxide 【分類】再発・難治性急性前骨髄球性白血病治療剤

【単位】▼10mg/A [10mL]

【常用量】0.15mg/kg/日

【用法】1～2hrかけて点滴静注 [5%ブドウ糖、生食100～250mLに混合] 寛解が得られるまで投与 [最大60回]

【透析患者への投与方法】0.15mg/kgを週2～3回 (17)

【PD】データなし (17)

【CRRT】データなし (17)

【保存期CKD患者への投与方法】排泄遅延のため血中濃度上昇のおそれがあり慎重投与 (1)

【その他の報告】データが少なく、正確には提示できないが、Vdが小さくなること、腎排泄が低下することから以下の調節を提案：Ccr 50～80mL/min : 0.08mg/kg/日, Ccr 49mL/min 以下 : 0.15mg/kgを週2回 (17)

【特徴】再発又は難治性の急性前骨髄球性白血病に適用。アポトーシス誘導、融合蛋白PML-RAR α の分解などが推定されている。

【主な副作用・毒性】

【F】

【tmax】

【代謝】無機ヒ素の代謝経路は、五価ヒ素と三価ヒ素の相互変換、それらからメチルアルソン酸(MAA)への変換、さらにジメチルアルソン酸(DMAA)に変換される。メチル化は主に肝で行われる (1) CYPには関連しない (1) MAA, DMAAの活性は無機三価ヒ素より低い (1)

【排泄】尿中回収率20%で、三価、五価のヒ素としてそれぞれ6% (1)

【CL】資料なし (1) 単回投与時のAUCより0.7L/hr/kg [iv] (5)

【t1/2】無機ヒ素として15～24hr (1) 総ヒ素として100hr (1)

【蛋白結合率】10～70% [animal model] (1)

【Vd】資料なし (1) おそらく5L/kg程度に大きい (5)

【MW】197.84

【透析性】HDクリアランス5mL/min (17) 資料なし (1) 除去されにくいと思われる (5)

【OW係数】資料なし (1)

【更新日】20180529

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。